

宮城県感染症発生動向調査情報(第4週)

宮城県【平成27年01月29日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2015.1.19 ~ 1.25 ・ 第4週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所					宮 城 県 (含む仙台市)				仙 台 市				
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第1週	第2週	第3週	第4週
水痘	11 2.20	4 0.40	7 1.40	1 0.50		0.60		22 0.85	48 0.83	178	○ →	○ →	○ →	○
流行性耳下腺炎						1 0.20		3 0.12	4 0.07	25	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	90 18.00	102 10.20	66 13.20	32 16.00	35 11.67	54 10.80	12 6.00	371 14.27	762 13.14	2,097	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病		4 0.40				1 0.20		7 0.27	12 0.21	42	→	→	→	
伝染性紅斑	6 1.20	7 0.70	11 2.20	1 0.50	1 0.33	12 2.40	1 0.50	45 1.73	84 1.45	279	○ →	○ →	◎ →	◎
突発性発しん	1 0.20	2 0.20	1 0.20	4 2.00	2 0.67	1 0.20		18 0.69	29 0.50	95	レ →	○ →	レ →	○
ヘルパンギーナ			1 0.20					1 0.02		3	→	→	→	
インフルエンザ	312 39.00	371 24.73	416 52.00	102 34.00	242 48.40	765 95.63	130 32.50	1207 28.74	3545 38.12	10,209	◎ →	◎ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱	1 0.20	3 0.30		1 0.50				9 0.35	14 0.24	40	→	→	→	
流行性角結膜炎			2 0.67					2 0.17		4	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8 1.60	37 3.70	6 1.20	5 2.50	1 0.33	15 3.00		105 4.04	177 3.05	391	レ →	○ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	3 3.00			3 3.00	3 0.60	10 0.83	32	→	→	→	
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	4 0.80	4 0.40	1 0.20	2 1.00	1 0.33	5 1.00		13 0.50	30 0.52	186	○ →	○ →	○ →	レ
拡張疾病														
マイコプラズマ肺炎(小児科)				1	1	2	2	1	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
川崎病	1							2						
不明発疹症	1							3						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※			1	1		1	1	4	62					

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群 (%)	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
2014年 第52週		14.3	30.7	25.6	5.2	5.1	6.5	5.1	3.6	1.8	1.3	0.8	2382
2015年 第1週		19.6	18.9	12.5	6.1	11.6	11.4	7.2	5.7	3.2	1.6	2.3	1140
第2週		23.6	18.8	10.7	4.4	9.1	9.1	9.4	7.0	3.8	2.2	1.9	2760
第3週		22.1	30.2	16.6	3.6	5.2	7.6	4.8	3.5	3.0	1.6	1.8	2764
第4週		19.6	35.4	21.3	3.2	3.0	5.9	4.1	2.8	2.1	1.1	1.4	3545

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第2週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県では宮崎県(76.42)、沖縄県(62.98)、熊本県(57.23)が多い。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,763例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(114例)、1~9歳(271例)、10代(49例)、20代(38例)、30代(40例)、40代(40例)、50代(65例)、60代(147例)、70代(298例)、80歳以上(701例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は3,459例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約80%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では北海道(1.31)、新潟県(1.30)、福井県(0.91)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では石川県(4.14)、島根県(3.35)、福岡県(3.18)が多い。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では富山県(3.20)、石川県(1.60)、香川県(1.20)が多い。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 定点当たり報告数は減少した。20都道府県から33例報告があり、年齢別では0歳(8例)、1~4歳(19例)、5~9歳(4例)、20代(1例)、60代(1例)であった。

※ 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
2類感染症: 結核

大崎管内 男性1名、女性1名
石巻管内 男性1名、女性1名
気仙沼管内 女性1名
仙台管内 男性4名、女児1名※

3類感染症: 報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症: アメーバ赤痢

仙台管内 男性2名
侵襲性肺炎球菌感染症
石巻管内 女性1名(第3週)
仙台管内 男性1名、女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 32例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【伝染性紅斑】

大崎管内で警報値を超えた。
仙南、石巻管内で警報継続中。

【インフルエンザ】

気仙沼管内で警報値を超えた。
仙南、大崎、栗原、登米、石巻、仙台管内で警報継続中。
塩釜管内で注意報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎集団発生事例より

仙南管内 第3週採取分 ノロウイルスG I およびG II 3件

インフルエンザ患者より

石巻管内 第2週採取分 インフルエンザウイルスAH3 3件

～仙台医療センターウイルスセンター～

第2週採取分 (1.5~1.11) 第3週採取分 (1.12~1.18) 第4週採取分 (1.19~1.25)

インフルエンザウイルスA(H3) 2件 0件 0件

パラインフルエンザウイルス2型 1件 0件 0件

パラインフルエンザウイルス4型 2件 0件 0件

RSウイルス 2件 4件 1件

【感染性胃腸炎】

今週、仙台市の宮城野及び若林保健所管内で警報レベル基準値(1定点当り20人)を超えたため、県は「感染性胃腸炎警報」を発令しました。集団発生事例も多数報告されており、今後も流行が拡大する可能性がありますので、予防対策に努めましょう。

【インフルエンザ】

県全体の患者報告数はさらに増加し、仙南、大崎、栗原、登米、石巻、仙台管内に加え、気仙沼管内でも警報値を超えました。特に、石巻管内では先週に続き増加し、1定点当りの患者数が90人を超えました。今後も流行の拡大が懸念されることから、下記HP等を参考に、日常的な予防を心がけてください。

・厚生労働省 インフルエンザQ&A

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html

・国立感染症研究所ホームページ

http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/a/flu.html